

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1090500214		
法人名	株式会社ベルフラワー		
事業所名	グループホームききょうの里		
所在地	群馬県太田市只上町2317番地		
自己評価作成日	令和3年1月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/10/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1090500214-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/10/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1090500214-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県高崎市八千代町三丁目9番8号		
訪問調査日	令和3年2月18日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

定期的な受診には家族の方をお願いをしているが、より詳細を伝えられるように職員も同行させて頂き、医師に利用者様の生活の変化を伝えている。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日常生活の中で選択の機会を作り、利用者の自己決定を尊重する支援をしている。家事の手伝い、レクリエーションへの参加、トイレ誘導の際、どうしたいか、どうしてほしいか、どうされたら嫌か等、利用者が率直に意思表示をし、自分で選べる環境があることが確認できた。また、管理者の日常のケアに対する視点が変わり、利用者にとって何が一番良いかを追求し、答えを見出すことで、利用者が安心して暮らせる生活の保障に繋がった。管理者の意識の変化が職員にも伝わり、利用者本位、自己決定という介護保険制度の基本理念を実現する支援に取り組んでいる様子が見えてきた。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様のADLを活かし、自立した生活を送れるよう支援に努めている	新入職員には施設長、管理者が理念を説明している。職員の優しい声かけ、言葉遣い、利用者ができることを見守る様子から、理念を理解し、実践に繋がっていると管理者は捉えている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流はほとんどない	施設名による地域からの反発や拒否があったが、区長より地域の長寿のお祝い会や感染症の注意喚起の情報等をもらっている。また、参加できる時には交流を図るきっかけとなるよう努めている。	地域密着型の事業所として、また、利用者の安全の為にも地域と繋がりをもち、連携が取れるよう、日常的な地域とのつきあいに取り組んでみてはどうか。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行っていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの影響から、太田市より令和2年からは運営推進会議は中止となっており、報告や話し合いは出来ていない	昨年の4月まで隔月で家族、区長、民生委員、運営推進委員、市担当者の出席により開催していた。現在は中止しているが、家族に現状を伝えるプリントを請求書に同封し送っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	以前は運営推進会議にて話し合いをしていたが、市より新型コロナウイルスの影響から運営推進会議の開催が中止となっており、ほとんど出来ていない	事故報告等は管理者が市に出向いている。管理者、ケアマネジャーが介護保険の更新代行や認定調査の立会いをしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員二人での入浴介助等、利用者様の安全見守りが薄くなるときは入口を施錠している  身体拘束はない 身体拘束が必要となった場合の記録やファイルを準備し、記録を残している	玄関は開錠している。毎月の月例会議で身体拘束、虐待の勉強会を行っている。スピーチロックについては言葉の表現や言い換えを話し合い、同意を得られる声かけをすることを共有している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	他施設での虐待事例や、虐待防止の資料を用意し、会議で話し合っている  入浴時や更衣の際に、利用者様の身体に異常がないか観察し情報を共有している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対象となる利用者様の支援方法を職員に伝え支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明を行い、質問等は真摯に受け止め、説明をしている 入所時と状態が変わってきたときは、十分な説明を行い、書面で内容を確認している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが意見の投稿はない ご家族様が来所されたり、連絡があった時に意見や要望を聞くようにしている	家族は意見等を言いにくい立場にあること考慮し来所の際に家族から具体的な要望を引き出すよう話しかけている。利用者からは夜勤の時等に個別に意見や要望を聞くよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の会議をしている 必要な時はその都度話をしている	月1回の全員出席の月例会議やQ&Aノートを用いて、意見や提案を出し合っている。また、新入職員の客観的な視点からの意見を吸い上げ、試行錯誤しながらケアや運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や会議に出席し職場環境・条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加してもらっていたが、新型コロナウイルスの影響により研修も中止となっている 会議の時に話し合いをしたり、利用者様個別の話し合いを必要時にしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行っていない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様、利用者様ご自身からサービスの希望を聞き、安全・安心の信頼関係を築けるように、情報を共有している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時や面会時にご家族様の希望を再確認し、各自のケアに反映できるよう情報を共有し、利用者様・ご家族様が安心できるように努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時に利用者様・ご家族様に希望されるサービスを確認し、施設での生活に慣れ親しんで頂けるよう支援している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事前後のテーブル拭き、おしぼりの準備、職員と一緒に食事の CART の運搬、下膳の手伝い、洗濯物を干す・たたむといった利用者様がができることは声掛けをし、やっていただけよう支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡でキーパーソンと意見交換をし、ご家族様と共に支援するよう努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時には、居室や談話室を利用して過ごしていただくようにしている 現在、感染症予防対策として10～15分の面会の制限時間を設け、ご家族様に協力していただいている	コロナ禍以前は家族、親戚、知人の訪問があり、居室で面談をしていた。また、これまでの趣味や洗濯物畳み、掃除、リネン交換の手伝い等家事の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様が自室から出てきた時は、朝昼晩の挨拶を職員から積極的に行い、他職員や利用者様にも共感してもらえるように努めている または共同で作業をしていただいている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移った利用者様は、事前に情報提供している。移動先の施設より問い合わせがあったときは、誠意をもって情報を提供している。亡くなられた利用者様のご家族様には各種書類の手続きを適切に行っている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様が望むケアを支援するよう努めているが「家に帰りたい」という希望には応えられない	利用者との会話や様子から、意向や思いを推し測り、把握したことを申し送りノートに記録し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に御家族様から詳細を訊ねるが、利用者様と離れて暮らしている方が多く、分からない御家族様もいる プライバシーの問題もあるので限度がある		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身共に変化の大きい利用者様がいるので、特に安全見守り・観察をしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様御本人、御家族様、職員が話し合い、望むケアを提供するよう努めている	ケアマネジャーが毎月1回モニタリングをし、介護計画は半年か早ければ3ヶ月ごとに見直し、更新している。利用者、家族の要望や課題を盛り込んだ個別性のある計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの実施記録を共有し、見直している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期受診、往診、散髪等のサービスを支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの慰問があったが、新型コロナウイルスの影響もあり、不要不急の外出・交流を自粛しているため行っていない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様の主治医に相談・支援を受けている	入居契約時にかかりつけ医の選択ができることを説明している。7名が協力医、2名が家族の付添いで受診している。但し、歩行が難しい場合は職員が付添う。歯科は必要に応じて受診している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職がいないので、利用者様の主治医と相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時、情報の共有をしている 入院時は担当看護師と情報交換を行い、入院中の経緯を看護師から情報をもらっている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期にはご家族様・主治医と常時連絡を取り合いながら、主治医に入院先を決めてもらっている	看取りはしないことを契約時に説明している。入院により退所し、退院後他の施設を探す必要がある場合は、家族に施設の情報を提供する等、引き続き支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は救急要請している IMG吸引ノズルや感染症対策キットを置いている 勤務中や会議等、職員が集まる時に使用方法を確認している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回避難訓練を実施していたが、新型コロナウイルスの影響もあり、市より不要不急の外出・交流を自粛するよう指示があり、今回は施設職員が消防士と消火器の使用方法を確認し火災訓練とした	消防署立会いの避難訓練を実施している。ハザードマップで水害の地域に該当することや避難場所、避難方法を管理者が確認し、情報を共有している。グループホームでの備蓄は特にしていない。	事業所独自の避難訓練を実施、災害時の利用者の行動や特徴を把握する機会としてみてはどうか。また、回数を重ね、避難技術を身に付けてほしい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格や尊厳を尊重する介護サービスの提供はもちろん、利用者様の経歴を職員間で共有し、適切な言葉遣いや、サービスの提供に努めている	日常生活で利用者が自己決定する選択の場面を作っている。また、感情の表出や訴えができる環境作りをする等、利用者の意思を尊重し、利用者の立場に立った支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との会話を進める為の適切な相槌と、利用者様の表情を見ながら、利用者様自身が意思決定出来るように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活は利用者様のペースに合わせている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自ら身だしなみを整えたり、ご自身が好きな服を着ていただけるように努力をしている 又は季節を通して必要な衣類は、ご家族様に用意をお願いしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	厨房があるので食事作りはしていないが、栄養士が栄養管理した食事を提供している レクリエーションでおやつ作りをしたり、お弁当を購入してしよじを楽しんでいる	隣接するショートステイと同じ食事を提供している。献立は利用者書き、食前の口腔体操として読み上げている。時には自分で弁当を選んだり、おやつ作りをし、目先を変える工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が栄養バランスを計算した食事を取っていただいている 水分摂取は緑茶、コーヒー、紅茶等を利用者様の希望に沿った形で提供している また、朝昼晩の食前にもほうじ茶を摂取していただいている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けをして口腔ケアが出来る利用者様には御自身でももらい、介助が必要な利用者様には職員が手伝って口腔ケアをしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様によってはリハビリパンツやオムツ、パットを使用している 排泄の訴えがあるときはトイレ誘導・介助し、訴えることが出来ない利用者様は排泄の時間の間隔をみてトイレ誘導・介助している	できる限りトイレで排泄ができるよう、自立者を見守っている。時間の間隔やチェック表、動きや様子で誘導をしている。車いすの利用者で本人納得の上、おむつ使用に同意しているケースもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂取していただく 主治医と相談し対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週二回入浴出来るようにしている	入浴は週2回、1日3名実施している。決まっている曜日以外に入浴したいという利用者はいない。、手伝いを申し出ることもあるが、自分で洗える場合は任せている。受診前日に変更し実施している。	連日になっても声かけをし、毎日入浴できるという情報を提供し、利用者が選択する機会を作る取り組みをしてみたいかがか。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の希望があるときには時間に関係なく、居室で休んでいただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報は「薬剤情報提供書」にて確認をし、薬は職員が管理をしている 利用者様ご自身で服用できる方は、見守りながら服用していただき、ご自身が難しい方は服用介助を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	下膳、洗濯物を干す・たたむ、テーブルを拭く、おしぼりを巻く、食事カートを押す等、お願いしている 童謡や懐かしい歌謡曲を歌ったり、季節の飾り物の作成を手伝っていただいている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	受診や季節を感じられる時期には出かけたりにしている	コロナ禍以前は家族から外出の申し出があれば出かけた、り、外食や季節ごとの外出をしていた。日常的には敷地内の散歩や洗濯物を干したり、取り込む際、戸外に出る支援をしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は施設で預かっている 利用者様の生活必需品を購入する場合、利用者様に確認していただき支払っている 毎月のお金の使用記録をつけて、御家族様に確認していただいている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様ご自身で電話をかけたり、手紙を書いたり出来ないが、利用者様宛てに来る手紙はプライバシーに配慮しながら、職員と一緒に読んで聞かせたりしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れるように努めている	生活臭や排泄臭の対策として午前、午後2回と明け方に共用空間を換気している。季節感のある飾り物やテレビ、ソファを置いて寛ぎの空間を作り、献立、時計、カレンダーは見やすい場所にある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	同じテーブルの利用者様同士で会話をしたり、ソファーや自室でくつろいでいる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様と御家族様が配置している	居室には備え付けの筆筒、洗面台があり自分で髭剃りもできる。歩行が難しい利用者には家具の配置を変えたり、許可を得て換気をする等、利用者が過ごしやすい居室作りを工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が混乱しないよう、同じ環境を維持出来るように努めている		